



CHILD EDUCATION

活動報告書
2022年2月



ベトナム トウエンクアン省
イエンソン郡

謝辞

プロジェクトを支援してくれたAEFAと AEFAを支える寄付者のみなさま、ボランティアのみなさまに感謝を申し上げます。

また、活動を進めるにあたり、意欲的に支えてくれた地域行政のみなさまにも感謝いたします。

トゥエンクアン省イエンソン郡地域当局

イエンソン郡キエンティエット社地域当局

イエンソン郡ティエンボ社地域当局

イエンソン郡スアンバン社地域当局

活動に参加した学校の教師・生徒の皆さんに感謝します。

キエンティエット小学校

ティエンボ小学校

スアンバン小学校

トレーニング(①&②)は、子どもの幸福と健康についての専門家であるNGOにより実施されました。

「Communication and Health Organization Well-Being」

また、M&E フレームワーク(Monitoring & Evaluation)の専門家の指導を受け、プロジェクト指標を設定、プロジェクト実施中に評価を随時実施し、軌道修正を行いました。



CSD team

Table of contents

序論	04
ワークフロー	05
プロジェクトのゴール	06
期待する成果	07
プロジェクトのタイムライン	08
主な活動	09
M&E フレームワーク	11
アンケート調査	12
達成した成果	22
全体の評価、活動から学んだこと	30
次のステップ	31
Appendix & コミュニケーションツール	33

序論

山岳地域に住む少数民族の子どもたちにとって、自分で自分の身を守るスキルは重要です。

普段の生活の中にも、さまざまな危険が潜んでいます。
子どもたちに責任を持つ大人たちが適切な対応を行わなければ、子どもが怪我をしたり命の危険すらあります。

水の事故や交通事故など子どもへの脅威を取り除く、または危険を最小限に抑え、緊急時に適切かつ安全な行動をとれるよう子供に教えるのは、両親や地域の大人の責任です。

しかし、大人たちですさえ必要な知識が不足し、適切な方法を知りません。

そこで、このプロジェクトでは：

- ①子どもの安全 怪我の予防
- ②児童虐待防止
- ③環境整備

に重点を置き、子ども自身が自ら身を守り安全を確保できるようになることをめざしています。

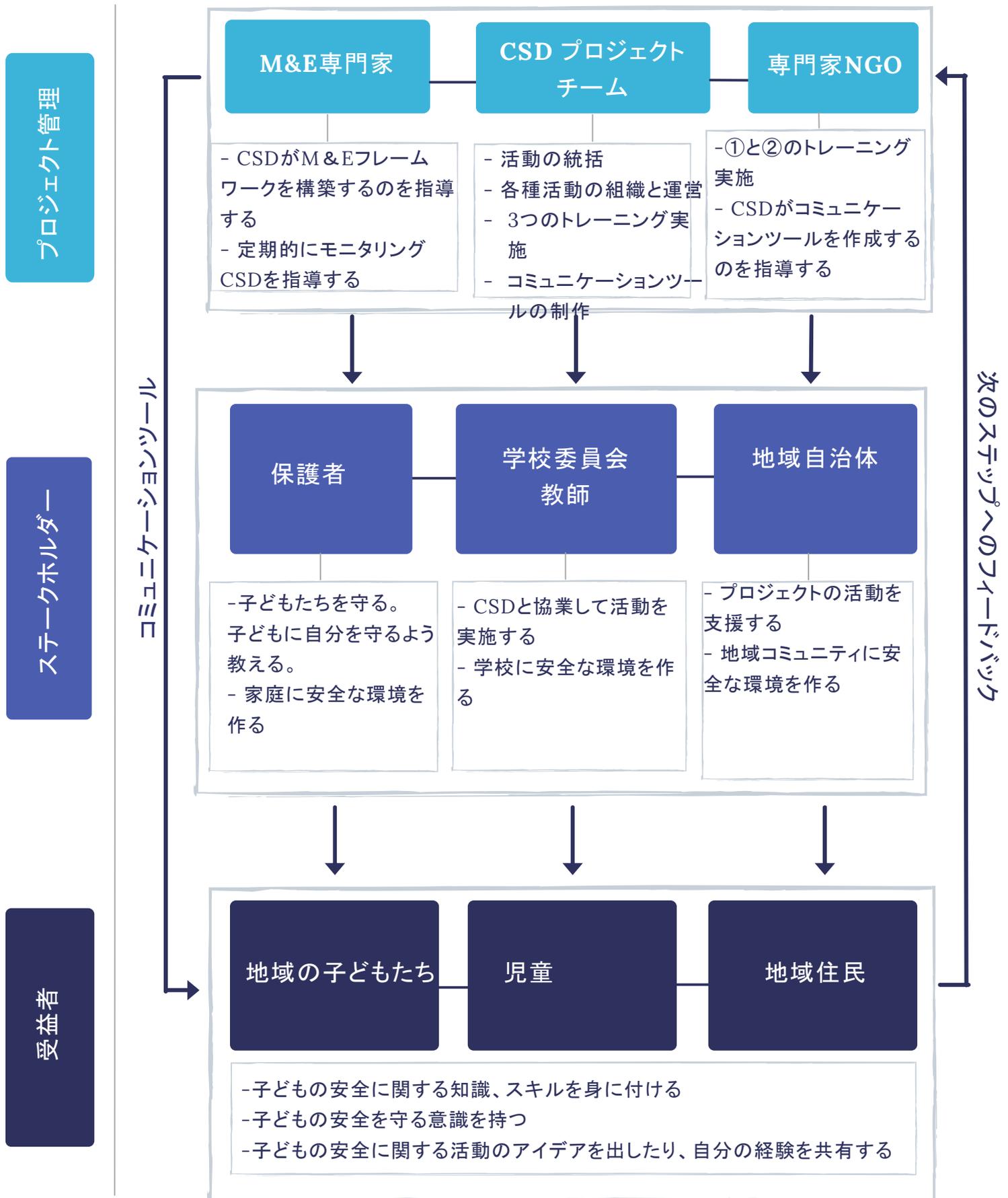
その目的が達せられた際には、次の段階として、マズローのいう自尊欲求 “自分で自分を信頼し、認めることができる”ことを目指したいと考えています。

コロナ終息後の社会を見据えるとき、どのような影響がでてくるかはわかりません。子どもが自ら安全な環境をつくりだせるようになることは、子どもの未来のみならず、持続可能な社会の為でもあります。

私たちの第一歩が、未来の大きな歩みにつながりますように。



Child Education ワークフロー



プロジェクトのゴール

1

地域の大人・子どもたちに、「安全で健康的な生活」に対する意識を高めると同時に、その概念を広める。

日常生活において子どもたちが遭遇する危険性を理解し、それらを避けるために適切に行動できるようになる。

2

子どもたちに、環境にやさしい習慣への意識を高める。

子どもと家族は、リサイクル可能な製品を適切にリサイクルできるようになる。

3

子どもたちが、自分の考えや意見を表現できる安全な空間を作る。

子どもたちは、子どもの安全に関する問題に積極的に参加、貢献することができる。

4

子どもたちの日常生活をより健康で安全にするための環境を
地域社会と共に作る。

地域・学校が、子どもたちにとってより健康的で安全な場所となる。

期待する成果

各校で活動の中心となる50名の児童と教師が、専門家から直接トレーニングを受ける。
各校の児童、教師の60~70%がプロジェクトに参加する。

1

児童が参加する活動時間の10~15%は、児童がディスカッションに参加し、自分の意見を言う

2

自然にやさしく、安全で衛生的な環境を作るための子ども向けハンドブックを300冊制作し、配布する

3

70%の子どもたちが自分の住む地域の危険な場所を知っている。
500枚のちらし、ポスター、横断幕を制作する。
各地域の危険箇所15か所に「警告標識」を設置する。

4

プロジェクトのタイムライン

No	フェーズ	実施時期	活動内容
1	Phase 1	10月/2020 – 12月/2020	プロジェクト準備
		10月/2020 – 12月/2020	<ul style="list-style-type: none"> 地域行政に活動許可を得る ①子どもの安全、②児童虐待防止、③環境整備に対する各地域と学校の現状を調査し、知識および取り組みが無いことを認識
		12月/2020	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトキックオフ
2	Phase 2	01月/2021 – 12月/2021	各学校の活動チームに①子どもの安全、②児童虐待防止、③環境整備のトレーニングを実施
		01月/2021 – 03月/2021	① 怪我の予防と応急処置のトレーニング実施 <ul style="list-style-type: none"> 3/29-30: 各校で子どもの怪我防止デイを開催
		04月/2021 – 06月/2021	② 児童虐待防止のトレーニング実施 <ul style="list-style-type: none"> 4/26-27: トレーニングコース開催。作成したハンドブックドラフトのテスト実施。 ①子どもの安全のハンドブックの完成 M&Eフレームワークの作成
		07月/2021 – 12月/2021	③ 環境整備(オンライン)トレーニングを実施 <ul style="list-style-type: none"> ②児童虐待防止ハンドブックのドラフト作成 地域の危険個所の調査と警告標識の制作 空気汚染測定器PAM Air Meter1の設置 “私の安全で幸せな生活”をテーマに絵と演劇のコンテストを開催
3	Phase 3	01月/2022	クロージングセレモニー ポスターやハンドブックの印刷と配布

主な活動



プロジェクトキックオフ

2020年12月



①子どもの安全
怪我の予防と応急処置トレーニング

2021年1月



子どもの怪我予防デイ

2021年3月



②児童虐待防止のトレーニング

2021年4月



地域の危険個所の調査と
警告標識の制作

2021年5～9月



ハンドブックとポスターの制作

2021年6～10月

主な活動



③環境整備(オンラインセッション)のトレーニング

2021年10月



“私の安全で幸せな生活”をテーマに絵と演劇のコンテスト

2021年10月



各地域に警告標識を設置

2021年10～12月



ハンドブックとポスターの完成

2021年12月～2022年1月



生徒たちの理解度を測るコンテストの実施

2021年12月～2022年1月



クロージングセレモニー

2022年1月

M&E フレームワーク

2021年5月から、CSDチームはプロジェクト管理のフレームワーク(枠組み) M&E(Monitoring & Evaluation)の専門家からプロジェクトの評価システムを構築するためのトレーニングを受け始めました。プロジェクトの開始時には、CSDプロジェクトチームにはデータ収集の経験が少なく、多くの課題に直面しました。そのため、正確な標準に従ってフレームワークを完成させるためには時間がかかりました。

2021年7月には、プロジェクトのM&Eフレームワークが完成しました。この評価フレームワークを使い、コロナ禍の影響の中で、プロジェクトの初期目標を達成するためにCSDは多くの活動を調整しました。また、専門家の指導を受けつつ、CSDは、プロジェクトの成果を測るデータ収集の準備をしました。データ収集は、プロジェクトのクロージングセレモニーでプロジェクト実施校を訪問する際に行いました。

Goal	Objective	Indicator	Indicator	Module	Impact	Output
Nhận thức cho người dân địa phương về chăm sóc, bảo vệ trẻ em và ý thức giữ môi trường sạch sẽ gần gũi được nâng cao	Tăng 1 năm, sáng cao nhận thức về an toàn trẻ em cho ít nhất 70% người đã tham gia khóa học ở 3 trường dự án	Tyên giáo - Mục đích: Nâng cao nhận thức, lý năng liên quan đến bảo vệ và chăm sóc trẻ em - Đối tượng: + 2 lớp 115 lớp 4.5 tại mỗi trường (trung tâm) + Toàn bộ GV (trung tâm) + 30 PHT + 2 cán bộ xã	Nhận thức của HS, GV, PHT về vấn đề bảo vệ trẻ em	Phòng tranh thường nhật	82%	
	BNI:			Phòng tranh tôn hai	50%	
				Bản vẽ môi trường	90%	
	Có một diễn đàn / không gian để HS tại 3 trường có thể lên tiếng về những vấn đề liên quan đến bản thân	Tổ chức ngày hội cộng đồng - Mục đích: + Phục thiện, nâng nng những vấn đề thực đã được đề cập trong những buổi tập huấn từ các HS, GV, PHT. + Tạo một không gian an toàn để trẻ được lên tiếng về vấn đề của mình - Đối tượng: + Toàn bộ HS tại 3 trường, 30 PHT + Toàn bộ GV tại 2 trường, 24	Không gian an toàn tại địa phương để trẻ có thể lên tiếng	Cả 3 module	0%	10-15% thời gian của ngày hội HS được lên tiếng, học hỏi từ những câu chuyện, giảng dạy cho các bạn các kiến thức đã được học
60% gia đình tham gia tập huấn báo về môi trường có thể tự tạo và sử dụng sản phẩm tự tài chủ thân thiện với môi trường (1)	Tập huấn làm nước rửa bát từ vỏ trái cây			Bản vẽ môi trường	0	
Truyền thông tích cực xây dựng môi trường an toàn, lành mạnh	Sản xuất các biển cảnh báo, billboard Xuất bản handbook			Cả 3 module	0	300 flyers, poster, banner, 15 billboard, warning sign boards, 100 handbook

M&E フレームワーク

学んだこと

- M&Eエキスパートの役割は重要です。エキスパートによる適切な監視と評価により、プロジェクト開発者が気づかなかったプロジェクトの目標達成の阻害要因となる問題を特定できました。
- プロジェクトの成功を確実にするためには、監視と評価が適切なタイミングで正しく行われるべきであることを認識しました。また、予期できなかったシナリオに適応するには、より柔軟である必要があることも認識しました。

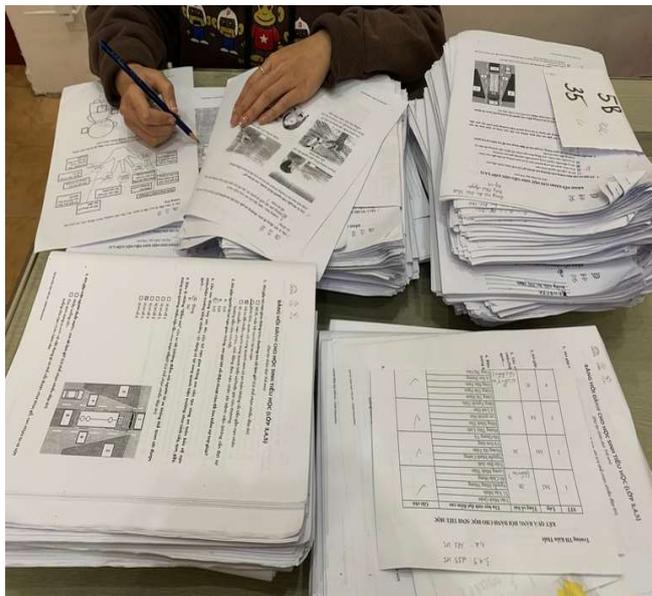
アンケート調査

生徒たちがプロジェクト中に得た

- ①子どもの安全
- ②児童虐待防止
- ③環境整備

に対する知識や意識を評価するために、アンケート調査を実施しました。

アンケートのデータを収集して分析・処理した後、結果は3つのプロジェクト実施校と地域の関係者に送り、現状を理解し、今後の教育に役立てられるようにしました。



また、データは、CSDがプロジェクトの結果を自己評価し、次のプロジェクトへの教訓を引き出す基礎としても活用します。

アンケートは、3, 4, 5年生用、1, 2年生用の2種類を準備しました。

実施したアンケート数は以下の通りです：

- 1, 2年生 333
- 3, 4, 5年生 570

計903票のアンケートを回収しました。

	キエンティ エット小	スアンバン 小	ティエンボ小	合計
1, 2年生	123	82	128	333
3, 4, 5年生	235	146	189	570
				903

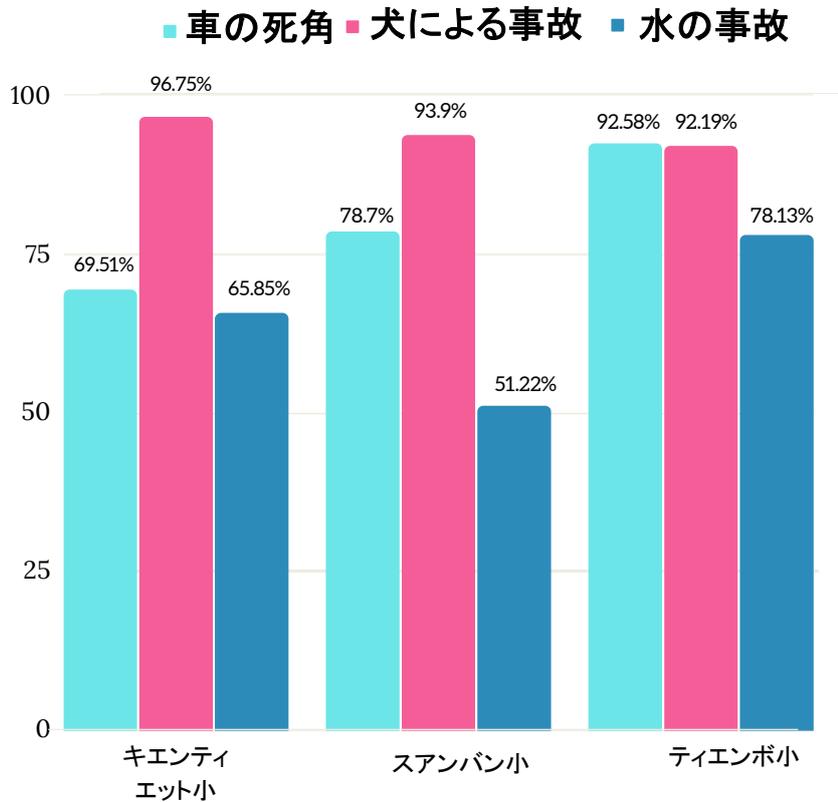
プロジェクト実施校から回収したアンケートの数

当初の計画では、教師と保護者の調査を実施する予定でしたが、コロナ感染拡大のために、調査は児童のみを対象に行われました。

調査結果

1, 2年生の調査結果

①子どもの安全 怪我の予防と応急処置



棒グラフは、1, 2年生の「①子どもの安全」の質問への正解の割合を示しています。車の死角、犬による噛み付きなどの事故、水の事故に関する質問をしました。

例: トラックの死角に入らない部分に色を塗ってください。

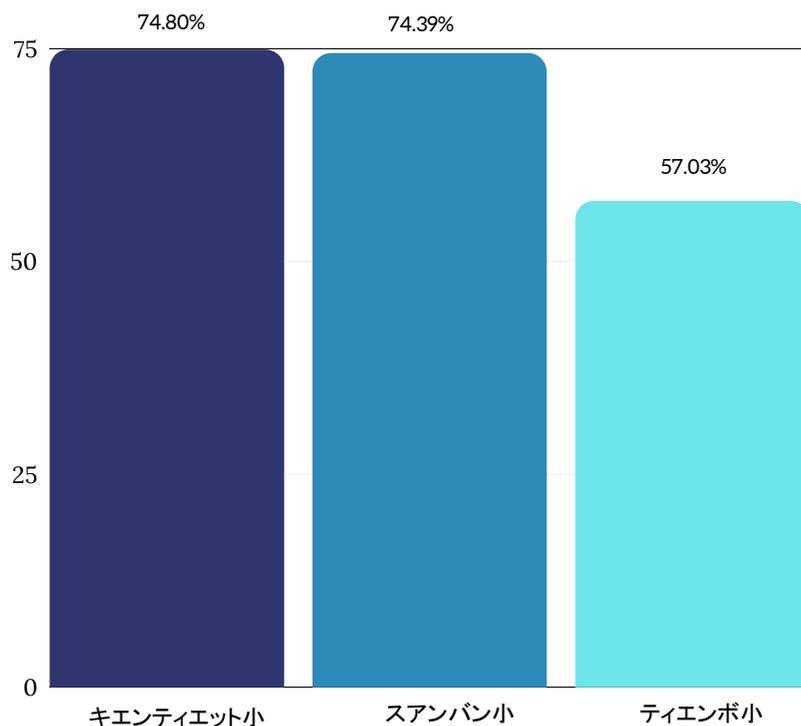
突然獰猛な犬に出くわしたら、あなたはどのようにしますか？

犬による事故に関する正解の割合は90%を超えていますが、水の事故に関する知識の正解率は低い数字にとどまっています。

(キエンティエット小では65.75%、スアンバン小では51.22%)。

1, 2年生の調査結果

②児童虐待防止



棒グラフは、3つのプロジェクト実施校における「②児童虐待防止」の質問への正解の割合を示しています。

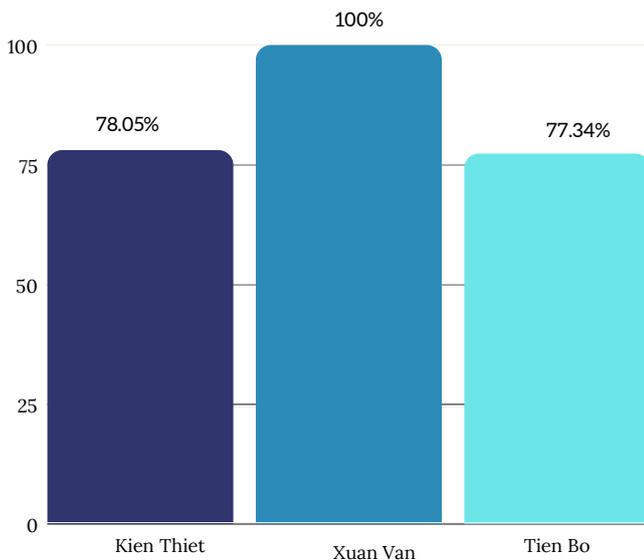
例:他の人が触れてはいけない、下着で覆われるべきプライベートな身体の部位に「X」を書いてください。

キエンティエット小とスアンバン小児童の正解率は、約74.8%と74.3%で、多くの児童が「児童虐待防止」に関する知識を持っています。

しかし、ティエンボ小の正解率の数字は低く、約57.03%にとどまっています。

1, 2年生の調査結果

③環境整備: 5つの衛生習慣



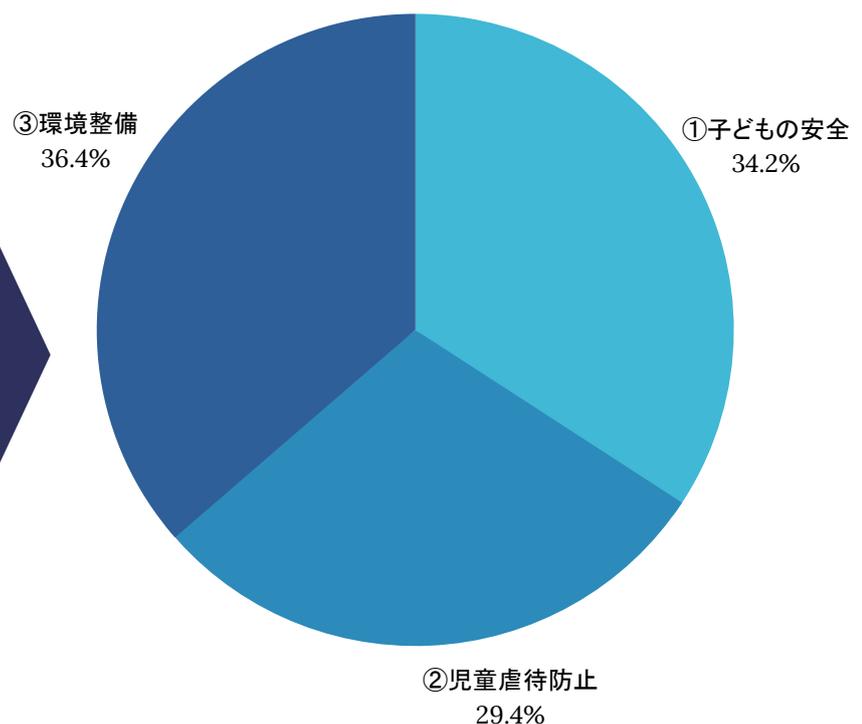
このグラフは、5つの衛生習慣の質問に対する正解の割合を表しています。5つの衛生習慣について、対応するルールと行動をについて質問しました。

生徒が環境整備や衛生に関する知識を持っていることが、数字から明らかになりました(3校ともには75%以上の生徒が正しく答え、スアンバン小100%の生徒が正解しています)

正解割合の比較- 1, 2年生

右の円グラフは、3校全体の1,2年生の正解の割合を比較したものです。

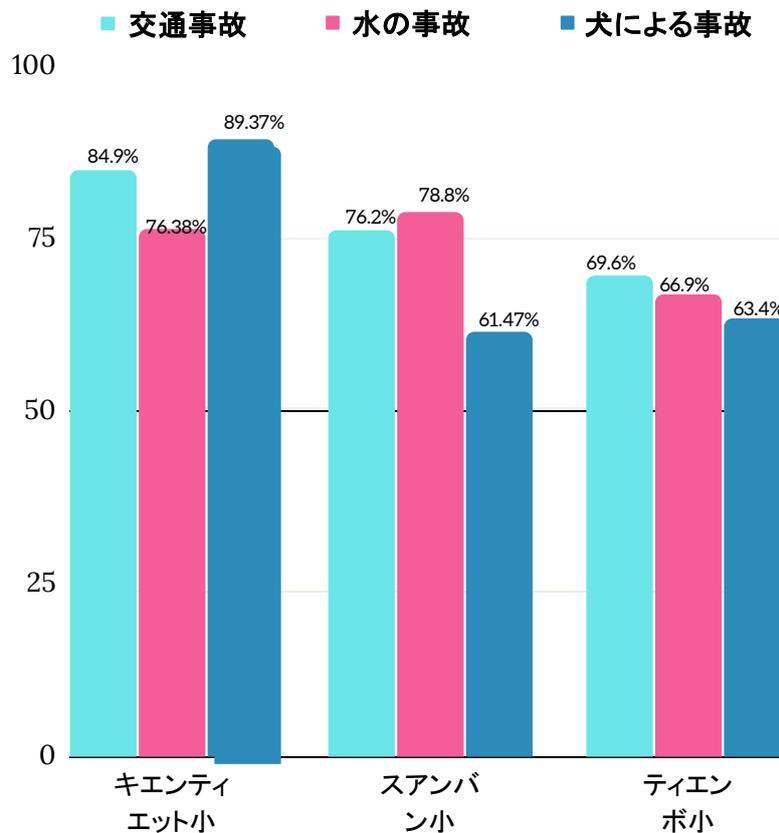
③環境整備の正解数が最も多く(36.4%)、①子どもの安全(34.2%)、②児童虐待防止(29.4%)はやや低くなっています。



調査結果

3,4,5年生の調査結果

①子どもの安全 怪我の予防と応急処置



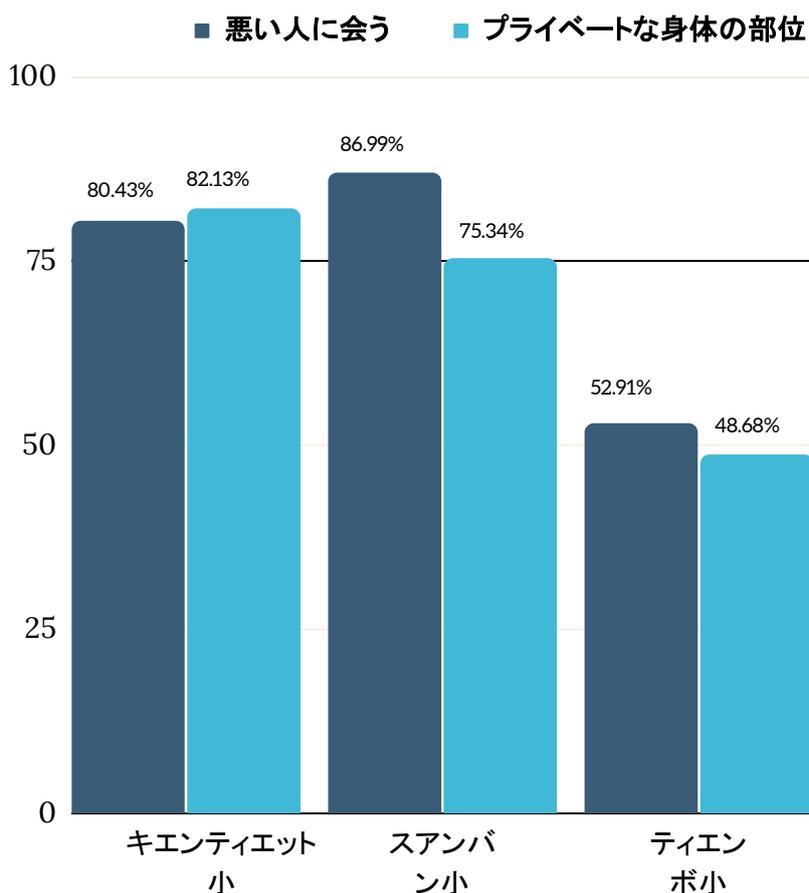
このグラフは、①子どもの安全 トレーニング実施校各校における、3,4,5年生の正解の割合を示しています。交通事故、水の事故、動物による事故に関する質問をしました。

例:交通事故に遭ったらどうしますか?

溺れている人を見かけたらどうしますか?....

多くの児童が正しい知識を持っていますが、犬による事故に関する正解率には学校差があり、キエンティエット小の学生は89.37%、スアンバン小とティエンボ小は60%強と低くなっています。

②児童虐待防止



このグラフは、トレーニング②の質問に対する正解率を表しています。

悪い人に会ったときどう行動するか、プライベートな身体の部位を区別することについて、質問しました。

例:他の人が触れるべきでない・下着で覆われるべきプライベートな身体の部位はどこですか？

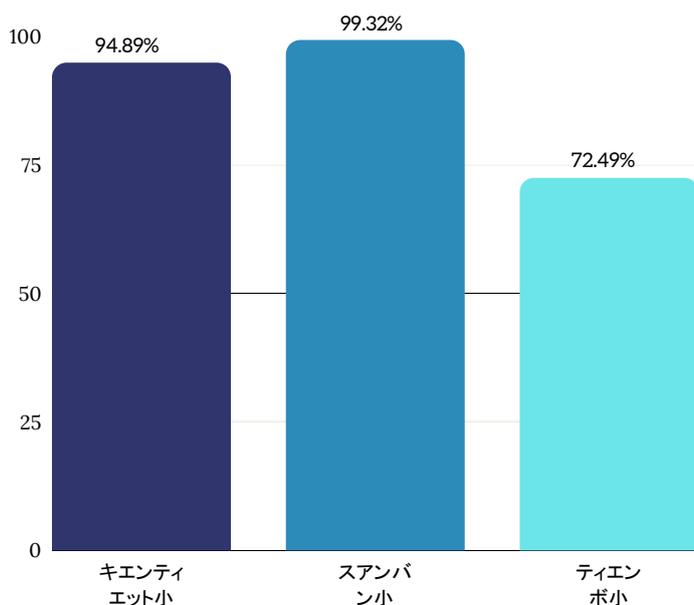
不審者に出会い、危害が加えられそうだと思ったら、どうしたらいいですか？

キエンティエツ小とスアンバン小の児童の正解率が高いです。

一方で、ティエンボ小は、両方の質問に対し、低い正解率(52.1%と48.68%)にとどまっています。

3,4,5年生の調査結果

モジュール 3: 環境整備: 5つの衛生習慣



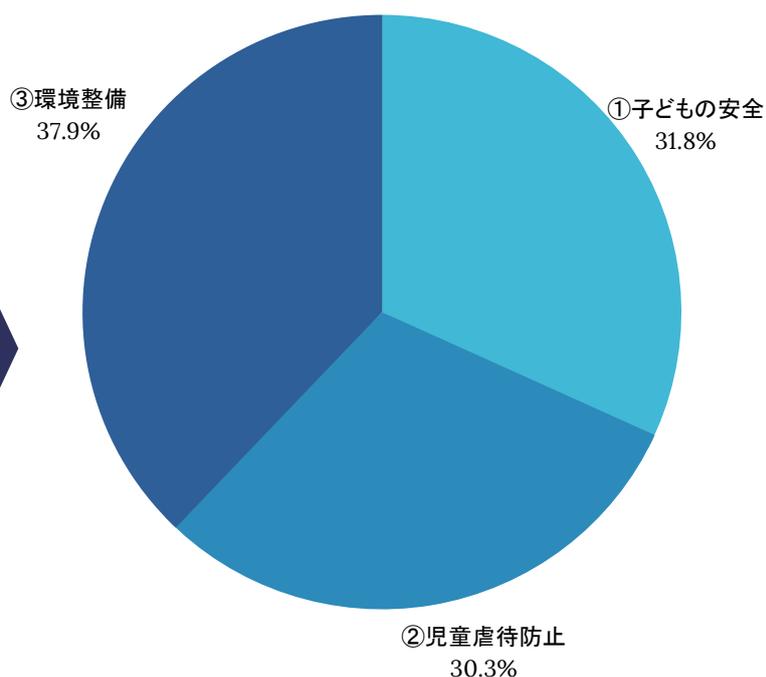
このグラフは、5つの衛生習慣の質問に対する正解の割合を表しています。5つの衛生習慣について、対応するルールととるべき行動について質問しました。

スアンバン小の殆どの生徒(99%)は5つの衛生習慣を知っている一方で、ティエンボ小の生徒の正解率は、72.49%にとどまりました。

正解割合の比較- 3,4,5年生

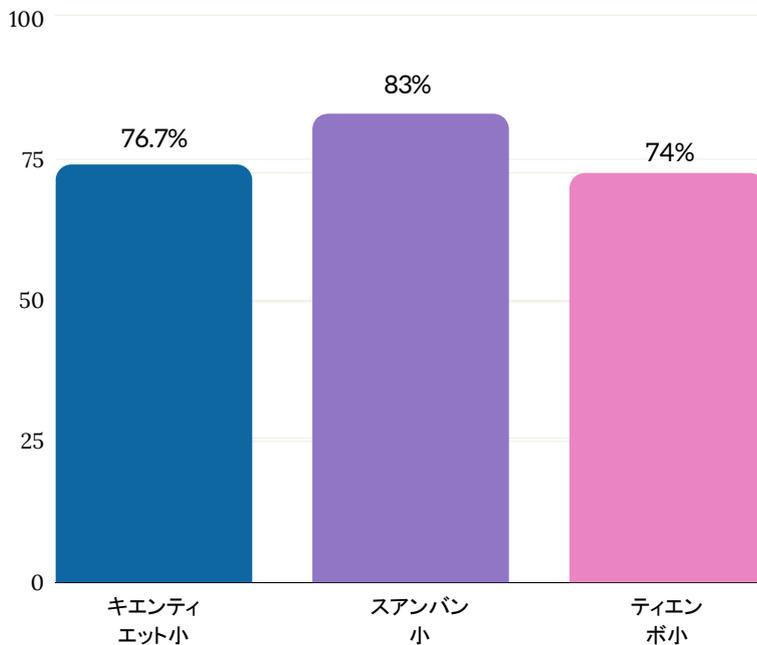
右の円グラフは、トレーニングを実施した3つの学校全体の3, 4, 5年生の正解の割合を比較したものです。

③環境整備の正解率が最も高く、その理由は、児童にとって身近で、生活に直接関係しているからと考えられます。



学校ごとの比較

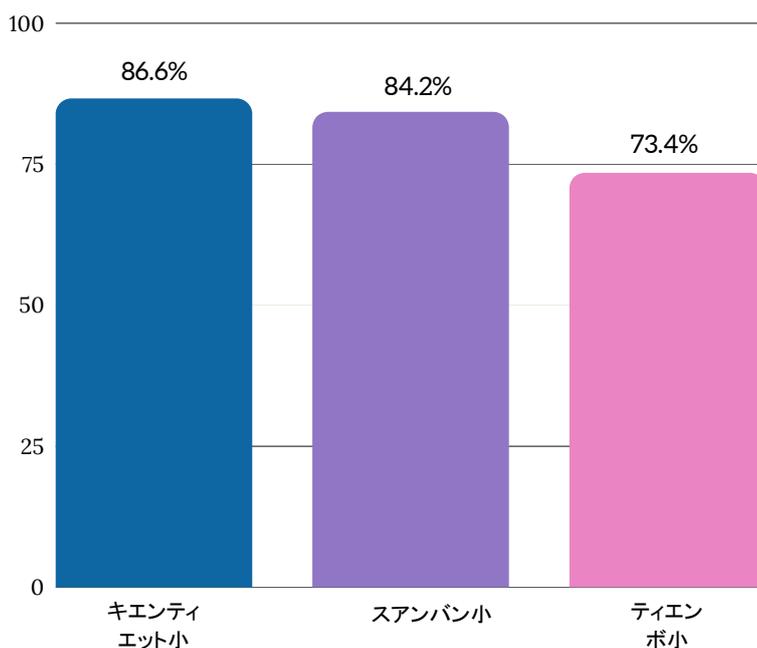
1,2年生



棒グラフは、3つのプロジェクト実施校における1,2年生の正解の割合を比較したものです。

グラフによると、スアンバン小の正解率は高く、1,2年生の83%が正しく答えられ、キエンティエット小(76.7%)とティエンボ小(74%)が続きます

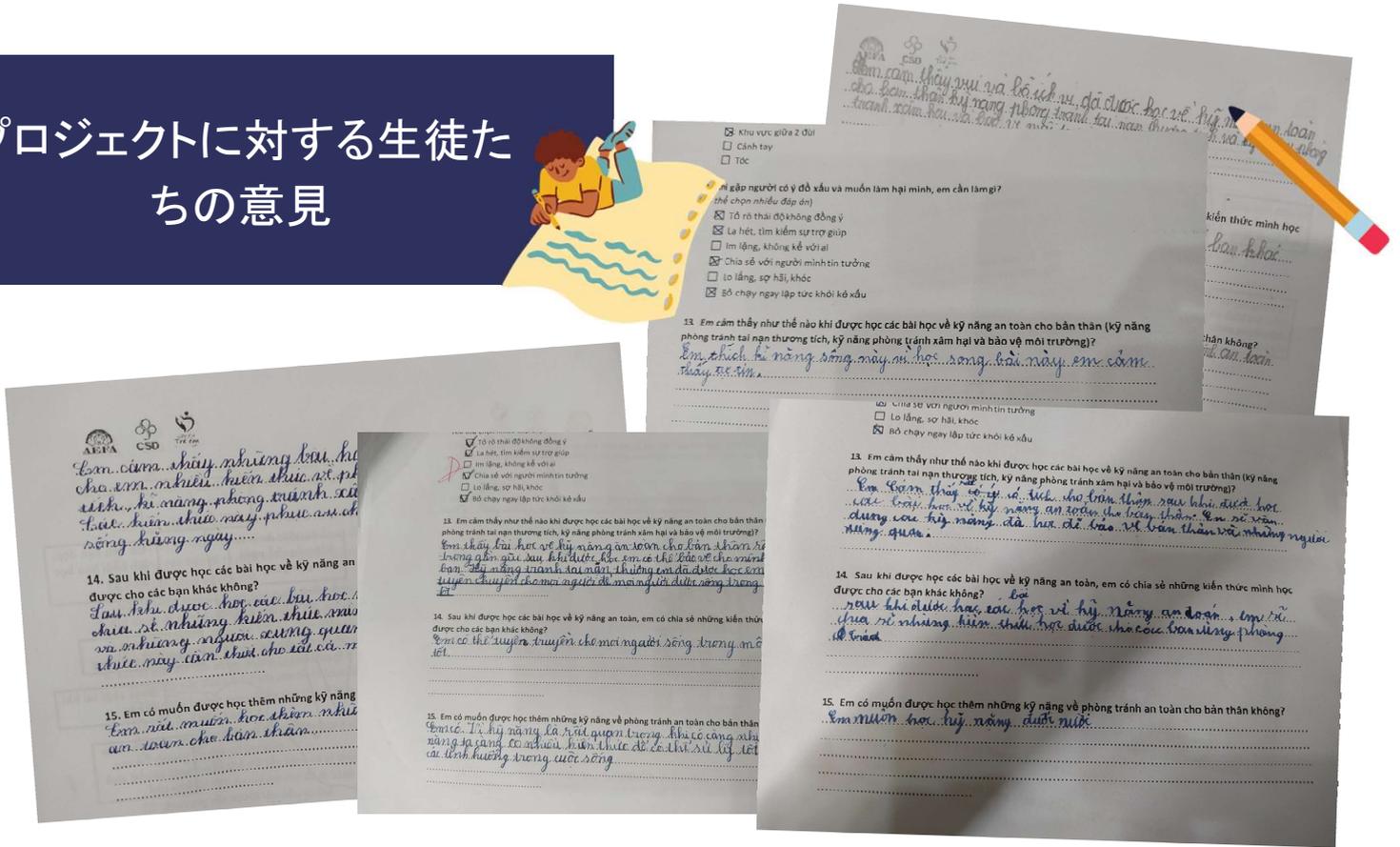
3,4,5年生



棒グラフは、3つのプロジェクト実施校の3,4,5年生の正解の割合を比較したものです。

グラフによると、キエンティエット小の正解率は高く、3,4,5年生の86.6%が正しく答えられ、スアンバン小(84.2%)とティエンボ小(73.4%)が続きます

プロジェクトに対する生徒たちの意見



「事故や虐待を防ぎ、環境を守るためのスキルなど、役立つことをたくさん教えてもらいました。日常生活の中で、私をたくさん助けてくれます」

Nguyen Minh Thu, class 4A, スアンバン小学校

「活動は楽しく面白かったです。学んだことを、友達にも教えてあげます」

Phan Dang Khoi, class 4A1, ティエンボ小学校

「色々なスキルを身に着けて、自分に自信ができました」

Nong Duc Duong, class 5A, キエンティエット小学校

「教えてもらったたくさんの知識で、自分と家族を守りたいです。それから、私は水に溺れたときのことについて、もっと学びたいです」

Le Viet Hung, class 3A2, キエンティエット小学校

「怪我の防止についてのスキルは身近なことなので、とても大切で役立つと感じています。自分だけでなく友人を守ることができるし、危険な状況でどうしたらいいかを教えてくれます」

Ho Hai Yen, class 5B, キエンティエット小学校

プロジェクト実施校の校長の意見

私たちは3つのプロジェクト実施校の校長にインタビューし、いくつかの質問をしました。

- Mr. Nguyen Quang Lich – キエンティエット小学校校長
- Mrs. Nguyen Thi Thuy – ティエンボ小学校校長
- Mr. Bui Ba Tam – スアンバン小学校校長

プロジェクトの終了後、教師、保護者、児童に変化はありましたか？

- 児童たちは、自らを守り、環境を清潔に保つことに注意を払うようになりました。保護者は、子どもを守る方法を知り、子どもに注意するようになりました。 - Mr. Lich
- 児童たちは、色々な事を学び、経験する機会が持てたことに非常に興奮していました - Mr. Tam

プロジェクトは、効果がありましたか？

3人の校長全員が、プロジェクトは児童にとって非常に有効だったと回答しました。

どのトレーニングが最も効果的でしたか？

①子どもの安全(怪我防止) ②児童虐待防止 が非常に重要で有益だと思う
- Mr. Tam

提案があったら教えてください

教師や児童のためのトレーニングや実践活動の数を増やす必要があると思います。また、多くのクラスにトレーニングを展開することも必要です。 - Mrs. Thuy

学校は意識を高め、活動を広めるために何をしますか？

児童のために、課外活動やコンテストを更に行っていきます。 - Mr. Lich

あなたが知っている“本当にあった出来事”を教えてください

昨年9月、我が校の女子児童が、ひっかかった洋服をとるために家の屋根に上り、誤って感電しました。雨が降っていたので、感電のショックは大きいものでした。しかし、訓練のおかげで、女子児童は助けを求めて叫ぶ方法を知っていました。両親はまた、訓練のおかげで、重傷をにならないように氷で感電部位を冷やす応急処置ができました
- Mrs. Thuy

達成した成果

300冊のハンドブック



CSDIは、“素晴らしい旅”という名前の物語を作り、児童が学んだことを常に思い出せるようにしました。このハンドブックは、ジーンという主人公と仲間が登場する一連の物語で構成されています。各物語は安全スキルのレッスンとなっており、問題への解決策を示しています。

2022年1月13日と14日に行われたクロージ
ングセレモニーの後でプロジェクト実施校3
校に100冊のハンドブックが配布されました。

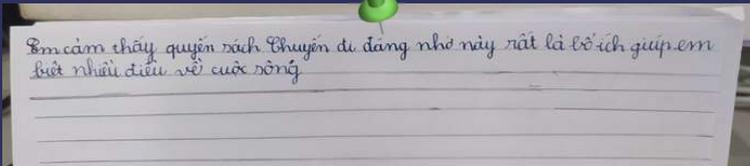
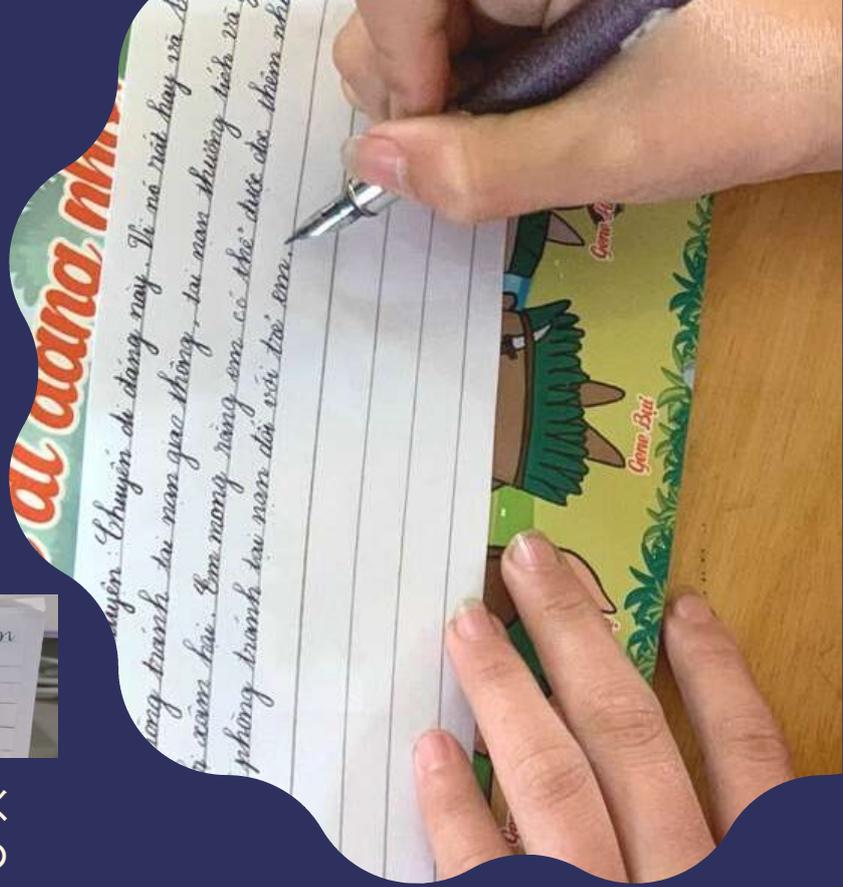
残る200冊は、約20校のレインボーライブ
ラリーに届け(1図書館あたり10冊)、プロ
ジェクトに参加しなかった学校でも、子ども
たちが知識を得られるようにします。



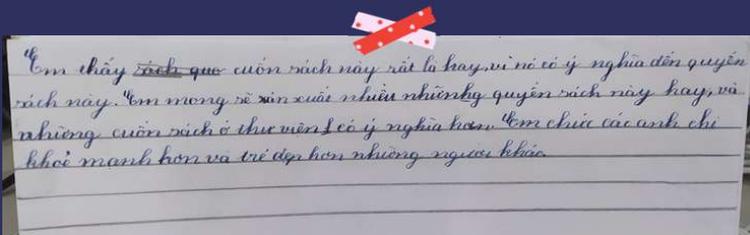
ハンドブックは学校の図書館や教室
に置き、いつでも読めるようにします。

子どもが自分で自分を守る意識を
高める上で、面白いハンドブックは
重要なツールです。

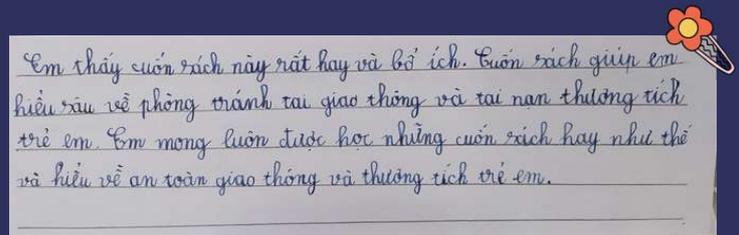
ハンドブックを読んだ 児童からの感想



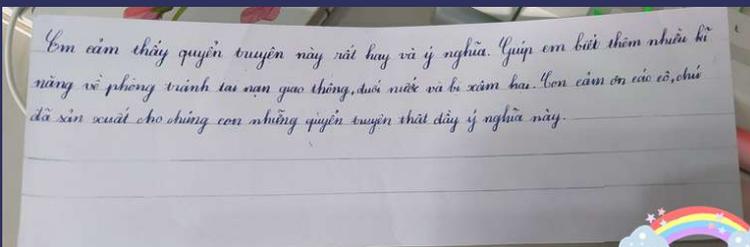
「素晴らしい旅」のハンドブックはとても面白く、役に立ちます。生活について、より多くのことを学ぶ助けとなります。



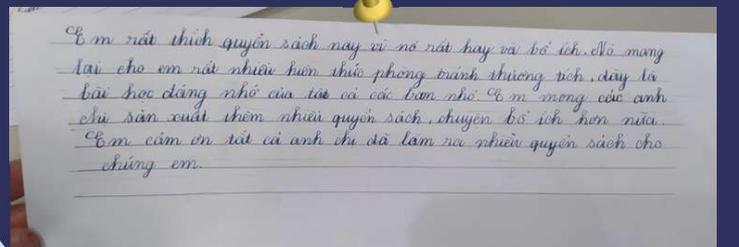
とても面白いと思います。私は図書館で、こういう本をもっともっと読みたいです。みなさんの健康と美しさを願っています。



ハンドブックはとても役に立ちます。交通事故防止に関する理解を深めるのに役立ちます。交通事故や子どもの怪我の予防に関する本をもっと読みたいです。



このハンドブックはとても面白くて役に立ちます。交通事故防止、水の事故、児童虐待防止に関する多くのスキルを知るのに役立ちます。この本を私たちに与えてくれてありがとう。



このハンドブックはとても面白いので、私は好きです。怪我の予防に関する多くの知識を得られました。私はこのような有用な物語がもっと作られることを願っています。本当に感謝しています。

250枚のポスター



250枚のポスターが印刷され、プロジェクト実施校に送られました。

ポスターは鮮やかな色彩でデザインされ、生徒が覚えやすい生き生きとしたイラストが描かれています

ポスターの内容:

- 7つの応急処置のステップ
- 5つの衛生習慣
- 虐待を防止するための5つの原則
- 児童虐待防止(大人向け)



ポスターは教室、カウンセリング室、図書館、掲示板など、学校の様々な場所に掲示されています。学生はポスターを毎日見ることによって、危険や悪い状況を回避し、対処する方法についての知識を形成することができます。



5つの横断幕 & 2つの立て看板

5つの横断幕と2つの立て看板を制作し、イベントやプロジェクトの活動を行う際に掲示しました



28個の警告標識と看板



プロジェクトの最初の目標は、15の警告標識の制作でした。しかしながら、現地調査の結果、各地域には警告標識を必要とする多くの危険な箇所があることがわかりました。

しかし、資金不足のため、各地域の中心部に警告標識を設置することにしました。中心部に設置することで、警告標識の効果を確認するための試みともなります。結果的に、26個の警告標識と2つの看板が3つの地域の中心部に設置されています。

警告標識の設置は、地域住民にプロジェクトを認識してもらうためにも、長期的に関連する知識を思い出し注意してもらうためにも、良い方法であると考えています。

	キエンティ エット	スアンバン	ティエンボ
この先カーブ-速度を落とせ	1		4
学校あり-速度を落とせ	4	6	4
溺死の危険あり	4	1	1
火で遊ばない	1		
ゴミの分別収集方法	1		1

3つの地域に設置された警告標識と看板

警告標識の設置前と後の例



キエンティエット: 通学路の交差点



ティエンボ: 村中央部: Ngoi Soan 灌漑施設



スアンバン: 船着き場

34

オンラインコミュニケーション キャンペーン: Facebook投稿



コロナ感染拡大の影響により、各学校での活動が難しくなったため、CSDは、子どもたちにさまざまな知識と、自分自身を守るスキルを広めるために、Facebookのコミュニケーションキャンペーンを実施しました。

キャンペーンでは、34の投稿を掲載しました。

投稿内容は、子どもの心身の健康の改善、虐待から子どもを守る方法、家族関係の強化など、さまざまなものでした。

コミュニケーションキャンペーンは、学校、地方自治体、児童たちから注目されました。

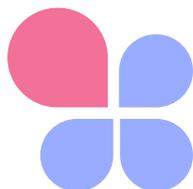
3つのプロジェクト実施校に限定されることなく、トウエンクアン省、バクザン省、ハノイなどの他のコミュニティにも効果的に影響を与えました。



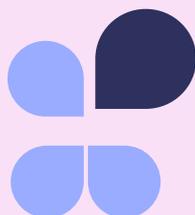
達成した成果

期待される成果

各校50名の児童と教師が中心となり、専門家から直接トレーニングを受ける。
各校の児童、教師の60～70%がプロジェクトに参加する。



児童が参加するトレーニング時間の10～15%は、児童たちが討議に参加し、自分の意見を言う



達成した成果

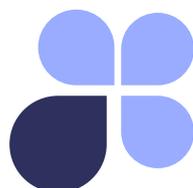
- 合計181人の児童、89人の教師、40人の保護者と4人の地区職員が①②のトレーニングを受けました。③は、オンラインで実施し、参加したのは児童のみでした。
- ワークショップ開催: 3月29日と30日に子どもの怪我防止デイを開催、各校の全校児童が参加しました(820人の生徒, 35人の教員が参加)
- コミュニケーションキャンペーンの実施: Facebookに34の投稿を行いました。
- このキャンペーンは、プロジェクト実施校だけでなく、地域全体や周辺地域にも及びました。(コロナ感染拡大のため、対面での活動が中断されたため、コミュニケーションキャンペーンを実施、5,780人に閲覧されました。)

すべてのトレーニングにおいて、児童が自分の考えや意見を話すための時間を、全体の10～15%設けました。

加えて、子どもたちが自分の希望や考えを表現することを促進する機会として、2つのコンテストを実施しました。

- “私の安全で幸せな世界” - 350枚の絵と、1つの演劇のビデオの参加がありました(2021年10月実施)。
- “理解しているので安全” - プロジェクト実施校の全クラスでクイズ形式で行いました(2022年1月)。

Expected outcomes

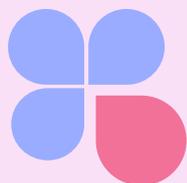


安全で、環境に優しく、衛生的な環境を作るための子ども向けハンドブックを制作し、300冊配布する

Achieved result

300冊のハンドブックを印刷しました

- 100冊はプロジェクト実施校に配布しました
- 200冊は約20校のレインボーライブラリー に配布します (各10冊ずつ)



70%の子どもたちが自分たちの地域の危険な場所を知っている; 500枚のちらし、ポスター、横断幕を制作する。各地域の危険箇所15か所に警告標識を設置する。

- 調査により、プロジェクト実施校のほぼすべての児童が知識を持っていることがわかりました。
(プロジェクトは本校でのみ実施、分校の生徒にはアプローチしていません)
- 250枚のポスター、5つの横断幕、2本の立て看板を制作しました。
- (学校委員会より提案された、ポスターを配置するクラス数および適切な場所に基づいて数を決定)
- 3つの地域の28か所に警告標識と看板を設置しました

全体の評価 活動から学んだこと

良かった点

Child Education プロジェクトは成功し、大きな成果を達成しました。

3つのテーマは、山岳地帯の子どもたちにとって特に必要で適切なものでした。

行動や習慣を形成するには多くの時間と労力がかかりますが、このプロジェクトは学校、保護者、児童の意識を段階的に高めました。

プロジェクトを実施するために、様々な方法を用いました:

学校でのトレーニング・オンライントレーニング、コミュニケーションキャンペーン、コミュニケーションツール(ハンドブック、警告標識など)の作成など

コロナ感染拡大の状況に合わせて、前向きに行動を継続し、多くの制約や常に変わる状況に対応しました。

課題

- プロジェクトは2020年12月～2022年1月まで1年以上の期間を要しました。コロナ禍により、すべての活動は遅れ、または中断しました。また、③環境整備 についてはオンライン・トレーニングとなりましたが、やはり対面での活動と比して質が劣るという面もありました。
- トレーニングを受講した児童数が、目標を下回りました。
- 印刷されたポスターとハンドブックの数が目標を下回りました。
しかし、プロジェクトの規模に対しては、適切な冊数を印刷しました。
- M&E フレームワークへの専門家の関与時期が遅かったため、効果を最大限にできませんでした。

活動から学んだこと

- M&E: プロジェクトの成功のためには、プロジェクト固有の評価システムが必要です。
- 予算見積もりと管理: プロジェクト実施中に追加コストが発生しないように、市場価格の変動を見込んでおく必要があります。
- リスク管理: 予期せぬ状況(費用とプロジェクト計画)への代替案を持つことで、リスクやその他の課題にタイムリーかつ効果的に対応できました。
- プロジェクト開始前に、プロジェクト対象の児童や地域の状況を調査することで、正しい手法を選ぶことができました。

次のステップ

Child Educationプロジェクトは、まだ当初の目標すべてを達成していませんが、顕著な効果がありました。山岳地帯や恵まれない地域の子どもたちは、通常では知ることができない実用的な知恵を身に着けることができました。

このプロジェクトから学んだ貴重な経験と教訓により、私たちはプロジェクトの運営により自信を持つようになりました。今後も、本プロジェクトを他の多くの学校に拡大することができれば、と期待しています。

Child Educationプロジェクトの開発を継続するために、以下の2つの活動を今後実施します。

パート1: 2022年3月～8月:

- 3つのプロジェクト実施校を訪問し、子どもの怪我や虐待について児童たちから体験を聞き取る。
- 収集した体験談を基に、啓発用のアニメ(動画)やお話を制作する。
- 再びプロジェクト実施校を訪問し、動画の鑑賞会や児童たちの体験談を聞く活動を行う

パート 2: 2022年9月～2023年2月:

- ①子どもの怪我の防止、②子どもの虐待防止の2つのテーマに絞り、1校を選び、全体トレーニングを行う
- ライフスキルの専門家を雇い、教師へのトレーニングを行う。トレーニングを受講した教師が児童をトレーニングすることで、より多くの児童がレッスンを受けられる機会を増やす(毎月、毎週)。





ARIGATOU !

Child Educationプロジェクトは、
コロナ禍において影響や被害を受けやすい子ども達のために実施されました。

私たちはAEFAがこのプロジェクトのアイデアを多くの他の国に拡げ、恵まれない子どもたちが恩恵を受けられるようになることを願っています。



APPENDIX

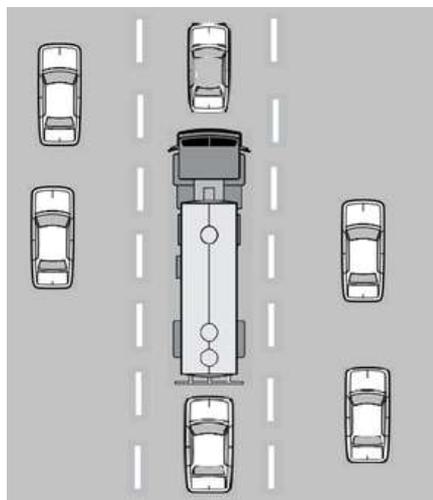
STUDENT QUESTIONNAIRE (GRADE 1,2)

(Child Education Project)

1. When you meet someone in a traffic accident, what phone number will you call to seek help? (Circle the correct answer)

- 113
- 114
- 115

2. Please color cars which do not enter into the blind spot of the truck



3. What will you do when you suddenly meet a ferocious dog? (Circle the correct answer)

- A. Panic, immediately run away
- B. Stand still and ignore. Then find a way to distract the dog to run away

4. What will you do when you meet someone drowning? (Please check the squares in the picture that you think is the correct action)



Quickly shout, call an adult to rescue the victim



Jump down to rescue the victim

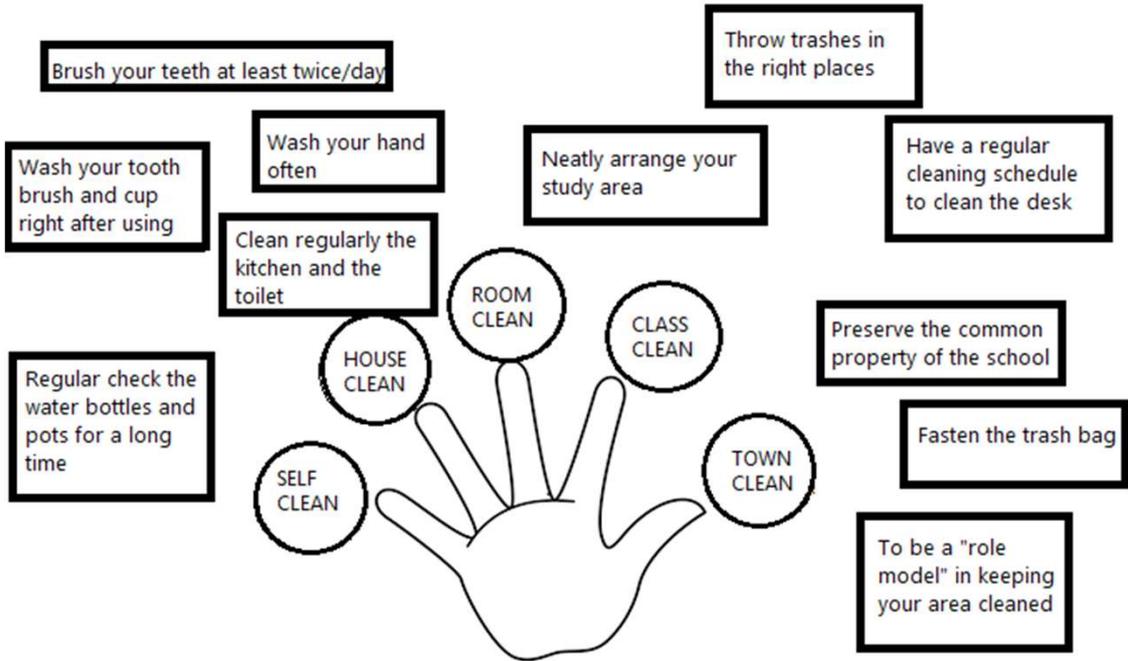


Find a lifebuoy or a floating object such as a log or a large plastic can and throw it down for the victim to cling to

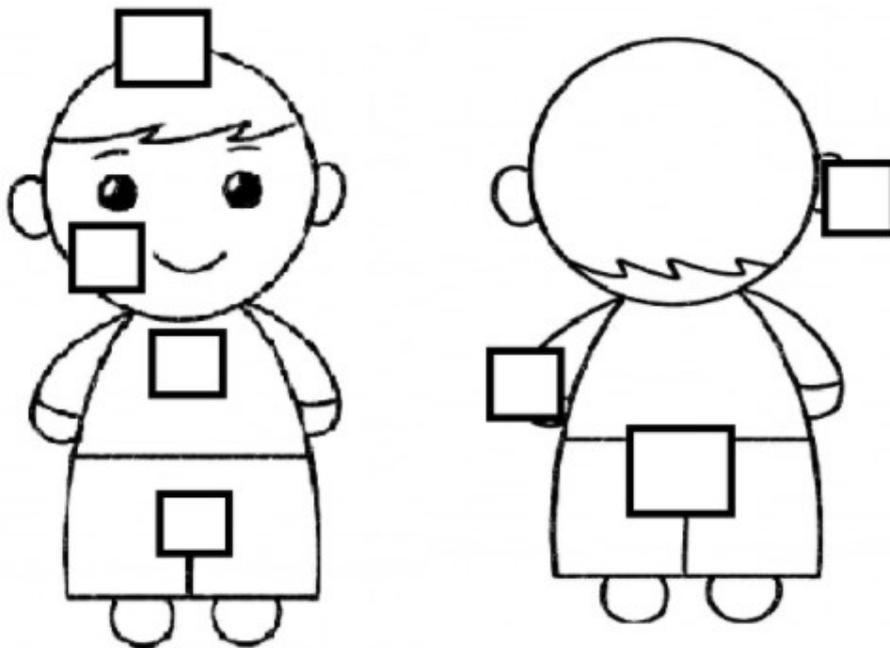


Call for rescue

5. Here are 5 Hygiene habits rule. Match the actions with the corresponding rules



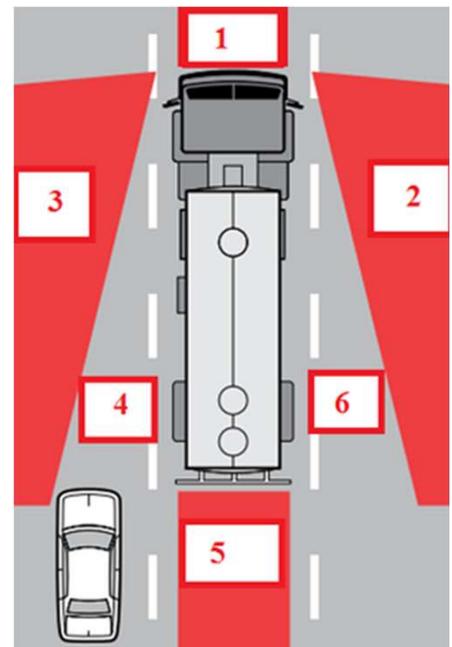
6. Please put an "X" in the squares that you think are private areas, covered by underwear that others cannot touch?



STUDENT QUESTIONNAIRE (GRADE 3,4,5)

(Child Education Project)

- 1. What will you do when you meet a traffic accident?** (You can choose more than 1 answer)
 - A. Walk away, ignore the victim
 - B. Calm down, look around. If safe, approach the victim
 - C. Shout loud to let others know and/or call the ambulance
 - D. Bring the victim to the hospital (no need to wait for the rescue's instructions)
- 2. When you meet someone in a traffic accident, what phone number will you call to seek help?** (Circle the correct answer)
 - A. 113
 - B. 114
 - C. 115
- 3. "When encountering a traffic accident, you should create a safe area to protect the victim/scene with items available around the scene such as branches, sticks, bricks...". True or false?**
 - A. True
 - B. False
- 4. Where are the truck's "blind spots" (spots that the driver cannot see through the rearview mirror or directly)?** (You can choose more than 1 answer)



- 5. What will you do when you meet someone drowning?** (You can choose more than 1 answer)
 - A. Jump down to rescue the victim
 - B. Find a lifebuoy or a floating object such as a log or a large plastic can and throw it down for the victim to cling to
 - C. Call adults to rescue the victim

6. In your opinion, which of the following actions are considered dangerous actions that you should not do?

(Tick the answers that you think are actions that you SHOULD NOT do)

- A. Swimming in an area where you don't know the depth or deep water
- B. Go to a river with your friends to swim without safety gear (life jackets, lifebuoys)
- C. Go swimming with adults
- D. Go to an area where people once drowned to swim

7. What will you do when you suddenly meet a ferocious dog?

- A. Panic, immediately run away
- B. Stand still and ignore. Then find a way to distract the dog to run away

8. When we are attacked by a fierce dog, what should we do?

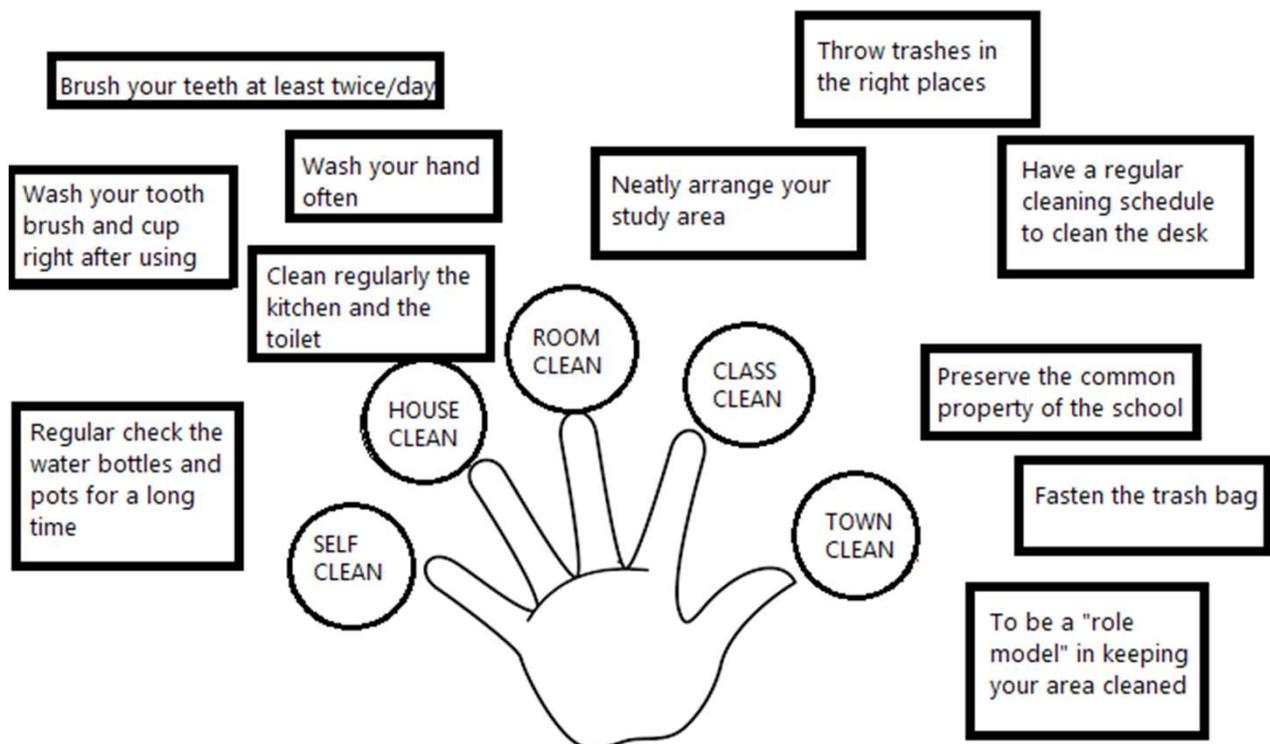
- A. Fear, panic makes the dog agitated
- B. Try to stay calm
- C. Hold your face with your hands, bend your knees to your stomach and curl up
- D. Shout out for help

9. If you are accidentally attacked by a fierce dog and get injured, what will you do?

- A. Tell an adult immediately if possible
- B. Use a clean cloth or gauze to press firmly on the wound to stop the bleeding
- C. After the wound is stopped bleeding, wash the wound with soap under clean water for at least 5 minutes

- D. Monitor the condition of pets

10. Here are 5 Hygiene habits rule. Match the actions with the corresponding rules



11. Where are the private areas, covered by underwear that others cannot touch?

(You can choose more than 1 answer)

- Chest
- Butt
- Mouth
- Area between 2 laps
- Arms
- Hair

12. When you meet someone with bad intentions and want to harm you, what should you do?

(You can choose more than 1 answer)

- Express your disagreement
- Scream, seek help
- Don't tell anyone
- Share with someone you trust
- Worry, fear, cry
- Runaway from the bad guy immediately

13. How do you feel when you learned lessons about self-safety skills? (prevent injuries, prevent abuse and protect the environment)?

.....

.....

.....

14. After taking these safety lessons, did you share the knowledge you have learned with others?

.....

.....

.....

15. Do you want to learn more self-safety skills?

.....

.....

.....

COMMUNICATION TOOL: POSTERS

5 HYGIENE HABITS FOR KIDS
Keep clean to kill germs & avoid getting sick

Personal hygiene
Brushing teeth, washing face day & night time
Regular baths of showers

Room hygiene
Tidying up your study space
Cleaning your desk & chair to prevent dust

House hygiene
Sweeping and garbage collection
Eat in the proper location and immediately wash your dishes.

Classroom hygiene
Neat and clean classrooms
Have fun, healthy friends.

Village hygiene
Preserve the public facilities
Dispose of garbage properly

The Children's Education Project aims to build public awareness of environmental protection, injury prevention, and child abuse.

Children - School - Development

5 PRINCIPLES to protect yourself

1 PRIVATE IS PRIVATE
Private parts are body parts covered by swimwear.

2 YOUR BODY BELONGS TO YOU
...So no one should look at or touch you (especially your private parts) if it makes you uncomfortable.

3 NO IS NO!
Say "No" and leave, stay away from people making you scared, uncomfortable.

4 SHARE YOUR SAD SECRETS
You don't need to keep secrets which make you sad, scared.

5 SPEAK UP!
Remember **05** adults you can trust and talk to them when you need.

Or you can call:
CHILDREN PROTECTION HOTLINE: 111
POLICE: 113

Child Education Project aims to raise awareness about children protection.
Children - School - Development

PREVENT CHILDREN ABUSE
"Child abuse is physical, sexual, and/or psychological maltreatment or neglect of a child or children."

WHAT PARENTS CAN DO TO PROTECT THEIR CHILDREN

- UNDERSTAND**
EVERY CHILD can be the victim.
- GUIDE**
"SAY NO - LEAVE - SHARE" when children fall into situations that make them afraid and uncomfortable.
- NOTICE**
Abnormal signs of the child (Sadness, easily frightened, unusual injuries, academic decline,...)

SAY NO to people you don't want and don't like to touch

LEAVE immediately from someone who makes you feel unsafe

SHARE with a trusted adult.

When you notice signs of child abuse, please contact:
CHILD PROTECTION HOTLINE: 111 | POLICE: 113

Child Education Project aims to raise awareness about children protection.
Children - School - Development

7 STEPS FIRST AID
Primary care for the casualty and alleviation of injuries

STEP 1 ASSESS THE DANGER OF THE SCENE

STEP 2 CHECK THE VICTIM'S CONSCIOUSNESS
Ask some simple questions:
- Could you hear me?
- Could you open your eyes?
- What's your name?

STEP 3 EMERGENCY CALL
- Shout for help
- Call an ambulance 115/local medical

STEP 4 CHECK & CLEAR THE AIR WAY
- Press the forehead and raise the victim's chin so that the airway is in a straight line
- Check the foreign body in the mouth, remove the foreign body

STEP 5 CHECK BREATHING
See: Chest does/does not move with breathing
Hear and feel: Close the earpiece and feel the breath at the victim's nose

STEP 6 CHECK PULSE
Check the arteries at:
- Wrist
- Neck

STEP 7 LISTEN & FOLLOW THE REQUEST OF 115 OR LOCAL HEALTH
- Stay in touch with emergency services until the victim is handed over to a relative or doctor
- Do not arbitrarily move the victim as this may cause further injury

The Children's Education Project aims to build public awareness of environmental protection, injury prevention, and child abuse.
Children - School - Development

COMMUNICATION TOOL: BILLBOARDS & SIGNBOARDS



SCHOOL- SLOW DOWN
SIGN



RISK OF DROWNING
SIGN



BEND AHEAD - DRIVE
SLOWLY SIGN



WASTE CLASSIFICATION
BILLBOARD



DO NOT PLAY WITH FIRE
SIGN

LIST OF POSTS ON CSD FAN PAGE (Communication campaign)

1. Celebrating World Environment Day - Ecosystem Restoration
2. Internet safety for children
3. Action for the ocean on the World Ocean Day 8th June
4. The rule for stranger safety
5. To improve the physical health in the pandemic season (part 1 &2)
6. Pant rules - For children's body safety
7. Suggested activity in the summer holidays
8. Child Labour is trending?
9. Celebration of Father's day
10. Safety rule for children alone at home
11. Drowning prevention for children
12. Positive discipline - Key to efficient parenting
13. Bio-cleansing water from fruit peels
14. How to motivate children appropriately?
15. ECO Brick - Effective solution for green environment
16. Flood safety tips (Before & after the flood comes)
17. Fire safety skills
18. Self-care in COVID 19 pandemic
19. Landslides - knowledge, and skills needed
20. Self-help skills for children
21. Air pollution
22. 4-5-1 Diet to increase our immune system
23. Waste products lifespan
24. Children's mental health in social distancing
25. The symbols of plastic types
26. Mitigating the consequences of natural disasters
27. Domestic violence in the COVID 19 pandemic
28. 3A principles - Safety tips for online learning
29. Common psychology of grade 1 students
30. 5 simple principles to master communication
31. Praise method to promote children's positive development
32. Stay safe when meeting the bad guy
33. Safety Children's Day - Reverse COVID 19
34. Common accidents in the rainy season